

(ア) 農業生産性の向上のためのエコサントイレの建設



【写真1】エコサントイレのビルダー養成研修を行う
当会スタッフの仙道（中央）。（2015年1月）



【写真2】エコサントイレのビルダー養成研修（実技）
を行う江崎建築専門家（中央）。（2015年2月）



【写真3】江崎建築専門家（左）がビルダーを指導する
様子。約2週間の研修を実施した。（2015年2月）



【写真4】ビルダー養成研修を修了した地元の建設作
業員。技術移転が十分に行えた16名をエコサンビル
ダーとして選定した。（2015年2月）



【写真5】ブシアンガラ小学校で完成したエコサント
イレ。（2015年2月）



【写真6】シランダロ小学校で完成したエコサントイ
レ（2015年6月）。事業地全体では計2,662名の学生、
村民が利用を開始した。



【写真 7】 事業地の小学校にてエコサントイレの使用
方法・公衆衛生・有機農業について当会現地スタッフ
(右) がワークショップを行う様子。(2015 年 7 月)



【写真 8】 事業地の小学校にて裨益者（学生・教員）
にエコサントイレの使用方法を指導した。(2015 年 7
月)



【写真 9】 小野コミュニティ開発専門家、小野農業専
門家らが事業地の小学校にて有機農業や保健衛生に
関する講習会を行った。(2015 年 8 月)



【写真 10】デモンストレーションファームで農地管理
の説明をする様子。(2015 年 4 月)



【写真 11】 農家と当会スタッフ（左）がデモンストレ
ーションファームでメイズを播種している様子（2015
年 4 月）



【写真 12】デモンストレーションファームでのメイズ
の栽培・生育経過。



【写真 13】フィールドデイには計 221 名の村民、農業省職員や厚生省職員らが参加した。(2015 年 8 月)



【写真 14】フィールドデイの様子。参加者はエコサン肥料や尿の施肥効果について学んだ。(2015 年 8 月)

(イ) 安全な水へのアクセス確保のための水道システムの構築



【写真 15】新規深井戸を採掘する様子。カカメガ郡にある建設会社が採掘を行った。(2015 年 10 月)



【写真 16】最初の水が噴出す様子。後日行った水質検査では、ケニア政府が定める水質基準を全項目で満たした。(2015 年 10 月)



【写真 17】関係者を招いての新規深井戸開水式 (2015 年 11 月)。水利省やカカメガ郡の職員、裨益者らが参加した。



【写真 18】ブシアンガラ高等学校で水道を利用する学生の様子 (2015 年 10 月)。事業地全体では計 2,063 名の裨益者が水利用を開始した。



【写真 19】個人世帯でも水道の利用が開始し、女性や子供の水汲み時間、労働が大幅に改善された（2015年10月）



【写真 20】水道パイプラインの敷設。地元の配管工が作業を行い、約 1.0km の拡張を実施した。（2015年9月）



【写真 21】松井水資源専門家（写真左）が水管理に関する協議を、水利省関係機関で行った。（2015年8月）



【写真 22】松井水資源専門家が井戸委員会と共に深井戸施設を視察し、今後の運営方針等を協議した。（2015年8月）



【写真 23】井戸管理委員会が会計業務に関する講習会を実施した。



【写真 24】水利省職員が講師を務め、委員会や裨益者に対して水管理に関するワークショップを実施した。（2015年10月）

(ウ) 燃料資源の維持と利用量の削減のための高効率かまど建設



【写真 25】樹木管理に関するワークショップ。森林局職員が講師を務め、514 世帯が参加した。(2015 年 5 月)



【写真 26】薪炭材植物の苗木配布の様子。講習会に参加した裨益者に配布を行った。(2015 年 5 月) 当会スタッフの原田 (写真左)



【写真 27】農畜産業普及委員会と植林のモニタリングを行い、70%以上の苗木が活着したことを確認した。当会スタッフの仙道 (中央)



【写真 28】改良かまどのビルダー養成研修を実施した (2015 年 2 月)



【写真 29】改良かまどのビルダー養成研修 (実技) を行う江崎建築専門家 (中央)。(2015 年 2 月)



【写真 30】江崎建築専門家 (右) がビルダーを指導する様子。(2015 年 2 月)



【写真 31】幼稚園で建設した改良かまどで、園児の昼食を調理する園の職員。(2015年3月)



【写真 32】改良かまどで調理した食事が幼児の給食として利用されている。(2015年3月)

(エ) 収入の向上に向けた農畜産物の生産と加工販売



【写真 33】調査員が村民に農畜産物に関するアンケートを実施した。(2014年12月)



【写真 34】小野コミュニティ開発専門家、小野農業専門家が畜産農家や市場を訪問し、マーケティング調査を行った。(2015年8月)



【写真 35】有用樹に関するワークショップ。農業省、森林局が講師を務めた。(2015年6月)



【写真 36】有用樹に関する実技のワークショップ。計407世帯の裨益者が参加した(2015年6月)



【写真 37】有用樹植林のモニタリングを実施。有用樹は裨益者 407 世帯が苗木 7,342 本が植林された。(2015 年 7 月)



【写真 38】有用種子に関するワークショップ。農業省職員が講師を務め、計 244 世帯の裨益者が参加した。(2015 年 8 月)

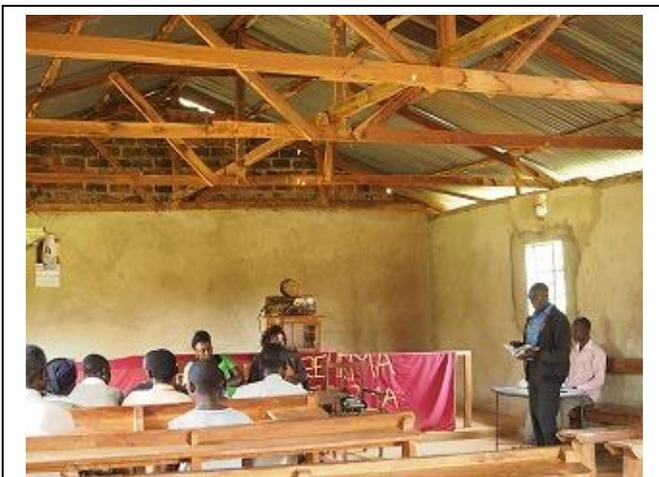


【写真 39】農産物の加工施設の建設現場。農畜産業普及委員会らと協働で、国家資格を持つ地元の業者を選定した。(2015 年 9 月)



【写真 40】農産物加工施設の建設現場。第 2 年次期以降に農畜産業普及委員会が活動の拠点とする (2015 年 10 月)

(オ) 女性の地位向上に向けたコミュニティ活動



【写真 41】女性の地位向上委員会の設立、女性 16 名 男性 4 名で構成されている。(2015 年 4 月)



【写真 42】女性の地位向上委員会を対象としたワークショップの様子。女性のエンパワーメントを専門とする地元の講師（奥右より）を招いた。(2015 年 4 月)



【写真 43】女性の地位向上委員会メンバーによる各村でのワークショップの実施の様子。委員会メンバー（写真奥）が講師となり、講義を行っている。



【写真 44】女性の地位向上委員会メンバーによる各村でのワークショップ。計 216 名の村民が参加した。

（事業に関する活動写真）



【写真 45】村民や現地政府関係者（右が Sub County 代表者）を招待した事業開始を伝える記念式典の様子。当会岡田が事業の紹介を行った。（2015 年 12 月）



【写真 46】事業開始を伝える記念式典の様子。多くの村民、各部署の政府関係者が出席した。